

岡谷市議会 議会報告会での意見交換（要約）

問：岡谷市議会に陳情などを提出した際に、陳情者の思いなどを聴く場をしっかりと設けてほしい。

答：そのような要望があったことを承知していない。今後、誠実に対応してまいりたい。

問（要望）：一般質問の様子は傍聴やテレビ中継で知ることができるが、議会中継を途中から見ても、何の話をされているか分からない。

提案として、議場にスクリーンで質問の内容などを映していただけなのか。市民が議会の模様を「見たい」、「聞きたい」という雰囲気になるように頑張ってもらいたい。

問：行政視察の状況について、各議員がどう捉えて、議会や市政に活かしているのか。また、メガソーラの視察について、二つの委員会で視察しているが、横の連携はないのか。

答：行政視察については、実際に視察を行い、苦労話などを伺うことにより、岡谷市政の課題解決への参考となるものである。視察後は、議会内で報告会を開き、一般質問の際などに、得た教訓から市側に対して意見や提言を行うなど、議員活動に活かされている。

メガソーラの視察については、市民から岡谷市でも取り入れられないかとの要望や公共施設への設置の予定がされていたため実施したもので、メーカーや発電量が違う施設の視察を行ったものである。また、それぞれの委員会が所管する施設や現場への視察に合わせて実施したものである。

問（要望）：次回は、視察がどのように活かされているか、また市側でどのように検討をされているのか、示していただきたい。

問：暴力団排除条例について、暴力団とはどのような定義がされているのか。

答：条例の上位法である暴対法に則って処理されることになるが、警察が広域で暴力団と認めている組織があり、この条例も同様に考えている。

この条例は、我々の力で暴力団を排除するものではなく啓蒙するものである。条例があることによって警察も動きやすくなるものと理解いただきたい。

問：暴対法について大まかな点でよいので説明いただけないか。

司会：この質問だけでは、他の方のバランスもあるので、質問の主旨を踏まえて、ホームページなどで暴力団とはどのようなものなのかお答えができればよいと思います。

※(市からの回答、議会としての取り組みについては別に掲載してあります。)

問(要望)：岡谷市議会では副議長の一般質問が許されていない。他所へ聞いてみても「おかしい」との返答が帰ってくるので再度検討いただき改善いただきたい。

問(要望)：議員の皆さんに憲法の前文を良く読んでいただき、憲法の条文を地元自治体に活かしていただきたい。いじめ、体罰、生活保護などの問題も全て憲法の条文に活かされている、是非大切に審議いただきたい。

市民憲章について、「仕事に生きがいを持ち豊かな産業のまちをつくりまします」とあるが、市役所職員の半数は非正規職員となっている。就職してもすぐに解雇されてしまうような状況では仕事に生きがいを持っていないような環境になっている。そういう中で市民憲章を唱和してみても白々しさを感じる。

そういう点を含めて現在の憲法が言っている、民主主義と反戦平和の決意を活かしたような文章を市民憲章にもられるべきではないかと思う。

制定後40～50年経っているので当時の方々がどのような議論を重ねたのか分からないが、平和産業があつてこそ豊かな産業のまちが秀でてくるわけで、思想的に筋が通ったものでないと、心のこもった唱和にならないと思う。

問：議会報告会の開催、大賛成であるので今後とも継続していただければありがたい。議会改革の中でとりわけ進めていただきたくのだが、市民に開かれた議会の推進、市民の市政への参加である。題目だけにならないように是非やってほしい。

ヨーロッパなどの地方議会の先進国では夜間議会を開催している。夜の開催であれば人も集まってこられる、是非考えていただきたい。全国でも200近くの議会が夜間議会を開催しているので視察などして参考にしていきたい。

市政懇談会においても同様の発言させていただいたが、市では一方的に決められない、議会と話しをしてみたいとのことであった。市民の皆さんが平等に議会を見る手段として夜間議会を是非開催してほしい。

答：開かれた議会は最も目指しているものであり、通年議会、夜間議会についても鋭意検討して、35項目の検討事項にも入っており勉強中である。視察や行政との話しもしてまいりたいと思っている。

問（要望）：議会などのテレビ中継の際に、聴覚障がい者のための手話通訳を付けてほしい。

※（市からの回答、議会としての取り組みについては別に掲載してあります。）

問：プラスチックの分別回収に当たって水道の水を使って洗浄しているが、水を使わなくてそのまま捨ててしまってもいけないか。

答：基本的にはきれいにして捨ててほしい。集めたものを業者がランク付けをしており、きちんとしていないとランクを下げられてしまう。水を使うことが良いのかとの問題もあるが、基本的にはきれいにして出してほしい。

問（要望）：空き家の部分については除雪がされない。市でも空き家対策の調査をするとのことであるが、前向きな検討をしていただかないと大変になると思うのでよろしくお願ひしたい。

※（市からの回答、議会としての取り組みについては別に掲載してあります。）

問：スマートインターチェンジについて、予算はいくらほど組まれたのか。

答：調査ということで、諏訪市と岡谷市がそれぞれ255万円を支出した。

※意見交換の中で出されました議会に対しての要望等につきましては、議会内において慎重に検討を深めてまいります。